11月22日 火曜日 21日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3286号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認新聞紙第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内銷部…)

4版

天気予報

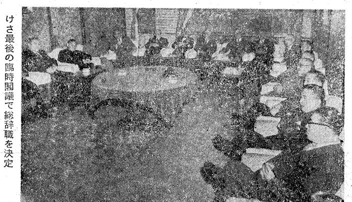


鳩山内閣けさ総辞職

最初の保守単一内閣 あす発足

鳩山内閣は二十一日午前十時三十五分から永田町の首相官邸で鳩山首相以下全閣僚出席して臨時閣議を開き、自民党の結成にともない与党の性格が変った。この新情勢に対しこの際総辞職をおこない新たな首相の発言があり、総辞職の方針を決定、全閣僚の辞表を取りまとめた。よって田中官房副長官は同十時五十五分この旨を衆参両院議長に通告した。かくて二十二日の臨時国会冒頭行われる首班指名には鳩山一郎氏、社会党は鈴木茂三郎氏をそれぞれ首班候補に立てるが、結局過半数をもって鳩山氏が……

鳩山首相は首班指名後ただちに第三次鳩山内閣組閣に着手、単一保守党の上にたつ第三次鳩山内閣を組織する。ところ二十二日午後二時から皇居で……から首相官邸で初閣議を開き、……る。



けさ最後の臨時閣議で総辞職を決定
写真は向って右から根本、河野、光、大麻、石橋、西田、一万田、竹山、花村、大久保、松田、高碕、砂田、松村、鳩山首相、川崎の各相(首相官邸で)

予想される入閣顔ぶれ

首相	鳩山 一郎	(再、民)
法相	牧野 良三	(新、民)
外相	重光 葵	(再、民)
蔵相	一万田尚登	(再、民)
文相	清瀬 一郎	(新、民)
厚相	小林 英三	(新、自、参)
農相	河野 一郎	(再、民)
通産相	石橋 湛山	(再、民)
運輸相	松野 鶴平	(元自、参)
または	馬場 元治	(新、自)
郵政相	村上 勇	(新、自)
労相	倉石 忠雄	(新、自)
建設相	太田 正孝	(新、自)
国務相(国家公安委員長)	大麻 唯男	(再、民)
国務相(自治庁長官、行政管理庁長官)	三好 英之	(元、民、参)
国務相(防衛庁長官)	船田 中	(新、自)
国務相(経済企画庁長官)	高碕達之助	(再、民)
国務相(給与担当、北海道開発庁長官)	正力松太郎	(新、民)
官房長官	根本龍太郎	(再、民)
法制局長官	林 修三	(再)

【注】カッコ内の再は再任、新は新任、元は元国務相、民は旧民主党、自は旧自由党、参は参院

再任は六閣僚
牧野、清瀬、正力氏内定
今夜正式決定

第三次鳩山内閣の閣僚選考は一部の懸案を残して、急速に本格化した。自民党は二十一日に持越された閣僚選考の問題点を同日午前、午後にわたって調整し、さらに午後三時から永田町のグランド・ホテルで四者会談(三木、大野、岸、石井四氏)でポストの割振りを中心に最終的な調整を行い、一応原案を作った上、同七時から音羽の鳩山邸で鳩山、緒方、三木、大野の四代行委員および岸幹事長、石井総務会長の首脳会議を開いて最終的に決定する予定であり、今夜中には全閣僚の顔ぶれが決定する運びである。

旧民主党側からは六閣僚の再任がほぼ決り、さらに牧野良三(法務)清瀬一郎(文部)正力松太郎(国務)の三氏の新入閣も内定した。しかし新入閣予定者には三好英之氏が有力な候補にのぼっており、このため再任六閣僚のうち一名か新入閣内定の三氏のうち一名のいずれかがおちる可能性も残されている。結局、この懸案は同夜の党最高首脳会議で鳩山首相の裁断に待つことになる。旧自由党からは……船田中、倉石……太田正孝……ある。しかし……決まっていな……

"速かに解散せよ"
社会党、内閣総辞職に抗議

社会党は二十一日鳩山内閣が総辞職したのに対し、中執委で次のような声明を決定、発表した。
◇わが党は先に憲法の規定に基づき日ソ交渉、日米会談、日比賠償の中間報告、地方財政窮乏打開、災害復旧等の予算審議のため臨時国会の早期召集を要求した。しかるに政府は国会の召集を故意に延ばし、世論におされて臨時国会……

安保理開かぬ
十八ヵ国加盟問題 四大国の一致まで

【ニューヨーク二十日発UP=共同】国連消息筋が二十日語ったところによると、国連安全保障理事会のエンテザム議長は、十八ヵ国一括加盟案の受入れについて米英仏ソ四大国の意見が一致しないかぎり安保理事会を招集しないとの意向を明らかにした。安保理事会の招集は米国が要請したものだが、このため理事会開催のためにはまず米国がモンゴル加盟について譲歩しなければならなくなったわけである。
【注】現在四大国のうち英ソ両国は十八ヵ国一括加盟に賛成しているが、米国はモンゴル加盟に反対しており、仏はアジア諸国の発言力強化を恐れ難色を示している。

会期は三日間
バグダッド会議

【バグダッド二十日発AP=共同】バグダッド条約会議は二十一日朝バグダッド市のアル・ザホウル宮殿(花の宮殿)で開会され、二十三日正午終了する予定だが、これに先立ちトルコ、イラク、パキスタン、イラン各首相とマクミラン英外相は二十日午後打ち合せのため会談する。

米太平洋艦隊司令官台北着

【台北二十日発ロイター=共同】スタンプ米太平洋艦隊司令官は二十日空路香港から台北に到着した。台湾に三日間滞在、蒋介石総統その他国府首脳および米当局者と会談する。

整理教員に退職金倍額支給

政府は二十一日次官会議で近く人員整理で退職する国立学校教員に対し国家公務員等退職手当暫定措置法第五条の規定を適用することをきめた。これによって退職者六百三十五名に対し、普通退職金の倍額が支給されることになった。

衆院側の自民党役員決まる

自民党は二十一日の首脳会議で衆院側から出す副幹事長、政調副会長ならびに代行委員付幹事をつぎのようにきめた。
▽副幹事長 池田正之輔、塚田十一郎、中曽根康弘、遠藤三郎、中垣国男
▽政調副会長 福田赳夫、井出一太郎、松野頼三、瀬尾弘吉、床次徳二
▽代行委員付幹事 坂田道太、福田篤泰、山口好一、安藤覚

粋人酔筆

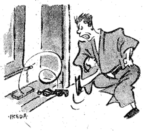
本像



この間は『西原将軍』のことを書いたが、狂人に隣り合っているものに白痴がある。白痴も狂人と同じように暴れると危険性がないでもないが、安全性は遥かに多いばかりか、まともな人間を操る妙は、狂人より以上かも知れない。芸術家が狂人に近い線上に立っているといわれるのも、どこかに無邪気さがあるからで、あるいは白痴線上にもまたがっているかも知れないのだ。そう考えてみると、芸術家はまるで常人でないことになってしまうが、しかしこの常人でないような芸術家を後援する人々は、それこそ狂人痴人を看護する医者の如く、看護人の如く、力を惜しまずお守りをしてくれる。但し病状を治そうとしないでますます病体化させようとする熱心さから時にひいきの引倒しがないとはいえない。

人間を引立てるのはむずかしい。だが引立てられる方もむずかしい。甘えるにも世話をかけるにも程がある。だからこれも常識線上に立つのかも知れないが、その程のよさは、自分が酔っぱらって介抱される時と同じものではないだろうか。

父の代から私の家に酒癖のよくない弟子がいた。法華信者で信仰心も厚く、へいぜいは誠に柔順でよく働きよく勤めたが、酔ったとなると手に負えない酒乱だった。私は二度ばかり、クビになるのを取りなしてやったことがあるが、私の代になってからも、その乱酒は治らなかった。



旅へ出ると私と宿は別だから、ひいきのおよばれから宿へ帰ると(それでも私と一緒の間は酒を殺しているのだろう)気の置けない朋輩同士だけなので、急に酔が出るらしい。さんざんに暴れて手数をかけた上に、旅先まで持って来て床の間に祀ってある日蓮の仏像を『このズクニューめ、床の間なんかに乗りやがって威張ってやがる』と足げにしてけっ飛ばした。

この話を聞いた時私はゾッとした。というのは、半身不随だったが物真似で有名な猫八という昔の落語家の話を聞いているからだ。猫八は先々代片岡市蔵の内弟子だったが、片市も日蓮信者なので、大きな日蓮上人の木像があった。大掃除のとき猫八がその木像を縁先へ出して、手前みてえな奴がいるから用が多くってたまらねえ、とつぶやきながらハタキで木像をひっぱたいた。ところがどうしたはずみか、猫八は庭へ転がり落ちて、立てなくなってしまった。まさか直ぐ罰が当ったとはいえないだろうが、符合があっているので、気持のいい話でない。

それから転心して落語家の修業に入ったという。ものにははずみがあるから、私は弟子の身を心配した。

ところが、翌る朝眼を覚ましてから、ゆうべの乱暴を朋輩が話すと、日蓮の木像を床の間に直して平身低頭、おわびの読経を続けたという。酒の上のことだから罰も当らないのかも知れないが、狂態痴態も常態に返れば愛敬があるので笑えるのだ。

中村吉右衛門

市況

ヒサハラ翁と

地獄耳

内外抄

東京株式仲値
(21日前場終値)

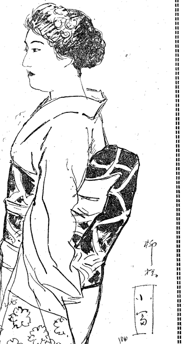
青春無宿
大林清 作 下高原健二 画
(195)



紅灯美人百景

③

富世　小富　＝柳橋＝



大川の水がひたひたと、ささやくような音を立てて夕汐を岸の石がけに送って来ると、橋のたもとの柳が早くも露けさを増して、夜の色をまとう。

やがて柳橋の花街の灯が、一せいにたらたらと、細長い光を川の面に流し出すと、不思議にも現実とは遠い、忘れられていた江戸情緒がよみがえって来る。

大川の水とともに、連綿と江戸時代から流れ続いて来た伝統は、柳橋花街のもつプライドにもなって、磨きのかかった江戸っ子気質は、この花街の特徴なのだ。

"富世"の一枚看板である小富さんは、芳紀二十一才。

美しいひとを"花のようなひとだ"というが、花にもいろいろある。

小富さんは花にたとえれば"咲きも余さず散りも初めぬ"といった、満開の桜が匂っているようなひとといいたい。

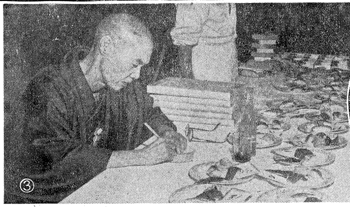
清楚でもなければ、妖艶でもない。

明るくて柔らかな感じは、相対しているだけで、心がほのぼのと温かくなるような妓である。だが、秋袷にぴったり包んだ、豊かな肌の線から盛り上る艶めかしさは、春の朧夜のようななやましさがある。

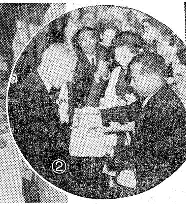
その柔かさと、フレッシュな感じは、出来たてのマシュマロのようでもある。指で突けばすぐへこむマシュマロ、指を離せば、また元どおりに戻るマシュマロ。――だが、彼女の笑くぼは、決して私が指で押したのではない。

×　×　×

えと文　神保朋世



③



②



①

愛妻家　二本棒　握り寿司コンクール

さながら夫婦善哉

控えの奥さん連ヤンヤ



④

○…自分の素行のご乱脈を"恐妻"の美名に隠れ、おこがましくも『恐妻会』なる結社をつくるとはもってのほか世にこんな亭主しかいないと女房族に感違いされたんでは男の面目が立たぬ、真の愛妻家はきたれ、というわけで二十六年十一月に結成式を挙げたのが『日本愛妻会』訳して"二本棒"愛妻会。発足当時は『夫婦善哉』の甘ったるさよろしく、夫婦で集まるものわずか二十組だったが、いままでに一人の不逞なる亭主もでず、したがって会からの脱退者も、除名されたものもなくいまでは八十組を越す盛況ぶり。そこで昨二十日は発足いらい満四周年に当り、そのうえ明後二十三日は勤労感謝の日とあって横浜はホテル・ニューグランドで、日ごろの女房のご苦労をねぎらおうと"亭主腕自慢にぎり寿司コンクール"なる"二本棒"亭主族の腕前発揮コンクールが開かれた。

○…集った面々は、褒賞ブームの波に乗ったかどうかは知らぬが、ともかく文化勲章に輝く横浜市長で名誉会長の平沼亮三、婦美子夫妻をはじめ、会場ニューグランド社長で会の理事長を勤める野村洋三、ミチ子夫妻、会長の半井清、久子夫妻、それに本紙『粋人粋筆』でお馴染みの作家の北林透馬氏、港ヨコハマ国際都市の名に恥じず、画家で船長のアメリカ人ギャラード・H・J氏も仲良く絹子夫人を伴って姿を現わし『オメデトウオメデトウ』の連発、また同じく本紙『粋人…』メンバー本山荻舟老も、日ごろの酔筆をきょうばかりは握り寿司の審査委員長として登場、〆て四十四組の一国一城のアルジ、しかも"二本棒"夫妻が集った。

○…会場隅に作られた屋台寿司屋には、白の割烹着に、白の帽子を冠った一城の主ならぬ俄か職人が、四人ずつ雁首をそろえれば、そばに控えた女房族日ごろの憎さ歯がゆさを忘れて声援しきり、ときならぬ嬌声乱舞となった。各選手握り終ったところで世にも珍らしきゲイジュツ作品を、試験答案を教師にさしだす小学生のように、神妙なる顔つきで本山荻舟審査委員長前に提出する。やおら立ち上った本山委員長。

『つまり握り寿司審査のコツは材料に対して、親切に握ったものでなければいけない。そして自分で握ってみて、いかにもうまそうだと思わなければいけない。この二つの前提があって、はじめて女房に食わせうる。つまり愛情精神に徹したものが最上級品であるのであります』

と、判ったような、判らんような審査方針をひとくさり、結局栄冠は新会員の山田利貞さんの頭上に輝き、その作品は、もっとも愛妻精神にみち溢れたものとの折紙をつけられた。



⑤



⑥

写真説明　❶『オオ、ムズカシイ』とギャラードさん　国際親善の一コマ❷『二本棒は愛妻の最たる表現でありまして』と"ニホン棒菓子"を贈られる平沼名誉会長❸『こう、ズラリと並べられたんじゃ』と苦吟する本山審査委員長❹『アーン』愛妻ゼスチュア、これに過ぎるものなし❺『頑張ってね』『まかしておけ』❻『人サシ指で押すのよ』握る亭主より、みつめる女房がヒヤ汗

モダン歳人記

心中賛美の近松

享保九年十一月二十二日、浄瑠璃作者巣林子近松門左衛門が七十一才で没した。彼は淀藩士だったが、坂田藤十郎や竹本義太夫と提携して『曽根崎心中』『冥途の飛脚』『国姓爺合戦』『心中天の網島』『女殺油地獄』『心中宵庚申』等の名作を発表し、彼によって心中はこの時代の流行になったのである。彼の戯曲は西鶴の小説とともに江戸の好色的なふん囲気に生れたものだから、その詞章には相当な文句が少なくない。

『三百戒五百戒もつづまるところは赤貝に上るとのお談義、半兵衛が、しかららるるも貝の業、そなたに俺が意見するも貝の業、一蓮托生園のご同行』(心中宵庚申)とか『夕波に可愛や女の丸裸、腰にうけ桶手には鎌、千尋の底の波間を分けて流松布(みるめ)かる、和布荒布(わかめあらめ)かあられもない裸身に"はも"がぬらつき"ぼら"がこそぐる"かざみ"がつめる、餌かと思って小鯛が乳に食いつくやな、腰の一重が波にひたれて肌もみえすく、壷かと心得、鯛めが臍をうかがう、汐干になれば洲崎の砂の腰だけ踊には蛤ふみ太腿に赤貝挟み』(平家女護島)など拾い出せばこんな描写はザラである。(鮭)

あすの運勢

＝十一月二十二日＝　高島象山

▲一月生―何事も初め勢いあるも中途より不安起り失望に至り易い
▲二月生―次第と難事も去り爽快なる活動状態起りて有利に転ずる
▲三月生―漸く難を去り好転して思いが叶い利達あり開業就職大吉
▲四月生―物事多事に流れ多端に失し確固たる信念を失い衰退する
▲五月生―気分も出て秩序も整い幸運発展あるなり新規はよくない
▲六月生―曇りのち晴れ晴天に至る如く爽快に進展する開業結婚吉
▲七月生―物に二心を抱き気迷い環境にあおられて失敗を招き易い
▲八月生―何事も自力独行屈せず努力すれば苦労はあるも目的達す
▲九月生―物事順調に進展し利達栄昌あり開業移転造作結婚は大吉
▲十月生―何事も保守的なれば都合よく進み大望は失敗の基を造る
▲十一月生―稼業に余念なく専心努力すれば順調に復し向上利達有
▲十二月生―物事面目を一新して躍進すれば成果愈々あがる開業吉

蛮流世界譚

…(インド)…

当地は何しろ年中暑いものですから夜でも平民は外に寝ます。星空を眺めて、冷たい道路に寝る味はオツなものですが、困ったことにはやっぱりあの時は仕方なく家にはいります。そこで用を済ましてヤレヤレとまた外に寝るのですが、シン旦那はそれが毎晩きまった時間でした。丁度定期便のように毎晩一時になると女房のところに参上するのです。女房も心得たものでその時間になると、サァとばかり待ち構えています。その夜はことのほか蒸暑く、旦那も外でいろいろ近所の連中と無駄話をしているうちに話がご多分にもれず女の話になり、結論的には間男は危険だがそれだけに味も深いのではないか、というようなことになると、どうも自分もそれがしてみたいという気になりましたが、それよりも、定時が過ぎたので慌てて細君の処に参上すると、驚いたことに誰か先客がいるではありませんか。シン旦那つくづくと『耳の早い野郎だ、俺はまだ思っただけだぞ』

東海毒婦伝　青とかげ　(136)

野沢純　土端一美画

お幾の茶屋(七)

問われて答えるおりうよりも、関所の裏を通り抜けた――と聞かされた、お幾の方が、よっぽど顔が青ざめていた。

なぜといって、関所破りの大罪は、昔からお仕置ものときまっている。

武家が所持する鉄砲でさえ、九挺までと定められ、弾丸は九匁。具足も九領。弓矢槍の三ツ道具とて十九挺まで。以上を超える場合はいちいち江戸、老中が特に認めた差許しがなければならない。

それ程厳しい箱根の関所を、無手形で越えて来た――と聞いては、無謀といおうか、大胆といおうか、お幾がおどろき青くなるのも無理はない。

その上、人を刺し殺し、あまつさえ胴巻の金まで奪った事実を聞いたとしたら、気絶失神してしまうであろう。

『よくまあご無事で』

とはじめに漏れた一と言は、ここへ来て、まるで違ったものになってきた。

『それで――途中、誰にも見咎められはしませんでしたか?』

前かがみに、息をひそめて訊く乳母へ、

『乞食に四、五人出逢っただけ』

『え? 乞食に?』

『うん――』

とおりうは無邪気に頷く。

『乞食が何か申しましたか?』

息せき込んでお幾は訊く。

『うるさい事を云ったから、お金をバラ撒いて逃げて来たの』

『お鳥目をおやりになったんですね?』

『そうじゃないわ、小判を四、五枚』

『えっ……小判を?』

とビックリおどろく。

『うん』

『あの、一両小判を?』

『そうよ』

とおりうは涼しい眸だ。

ここに至って、お幾は再び啞然とした。

たかが乞食に投げ与える金ならビタ銭でたくさんなものを――と思うほかに、小判と聞いてまだ心がかりな事がある。

『どうして一両小判など、お投げになったんですか?』

『だって……手許にそれしかなかったんだもの』

財布は何処かへ落してしまった。

持っていたのは、殺した旅にんの胴巻の中から、盗みとった小判だけである。そのいきさつはもとよりいえない。

『それは、大へんな事をなさいました』

うつ向いて漏らす、深い吐息に、

『なァぜ』

とおりうはあどけない。

『なぜと申して―乞食ふぜいが、一両小判をそのまま使ったら忽ちバレてしまいます。誰から貰った? どういう仔細で手に入れたと調べるにきまっております』

『……』

『調べられれば足が付きます。それがもとで、関所破りの事がバレます』

『……』

『ああ……もしそんな事になったとしたら、どうしよう。……あたまが痛い』

お幾は、なかばおろおろ声で、

『どうしよう。どうしよう』

コメカミをきりきりと抑えながらも、

『南無三島大明神さま――どうぞあらわれませぬように! 南無、妙法華寺の大菩薩さま――みほとけの大慈大悲をもちまして、おりうさまを危難の淵から救わせ給え――』

必死な思いで祈る折から、お幾の茶屋の表口。雨戸をどんどん叩く音がして、

『おい、もう寝たかえ? 起きていたら、済まねえが、ちょっくらここを開けてくんねえ。俺だ。大場(だいば)の長八だ。ちょっくら訊きてえ事がある』

声音を聞いて、お幾は思わず慌てざま、手まねでおりうに隠れるように示しながら、

『はっ、はい――只今』



ドライブの話題

ピクニックも自動車で　便利な日本ドライブクラブ

自動車は自分で運転するものだ"真の交通道徳もそこから生れる"と科学知識の普及とドライブの愉しみを目的に『日本ドライブクラブ』が生れたのは昭和二十八年であった。

本部は日本橋江戸橋三ノ五。会員は今や八百人に達し何といっても第一の魅力は高級車で面白くドライブ出来ることだろう。常時高級新型車二十五台を用意し時間、日割制で使用されている。

理事長は太田実氏、ときには手をとって運転指導もするという気さくな人。会員になっておけば何時でも利用出来るから彼女と一緒にピクニックする話題で満都の人気を沸かしている。

民謡クラブの人気のゆえん



そうでなくても腹から声を出すのが民謡だ。健康保持には何よりいい趣味なのだが、これをうなりながら温泉に入るんだからこたえられない。体の為にいいとあって都内は勿論、関東近県からぞくぞく人を集めている"民謡クラブ"は大塚駅北口から二分ぐらいの地点にある。百円でうなるのみか、"民謡教室"が設けられていて、一流人が毎日交互に手を取って教えてくれるというから有難い。

主人は佐藤陶道氏。民謡をやっても一流だが、腕に覚えのほう丁でうまい成吉思汗焼も料理する。

誰にも着心地よい　既製服で有名な『あさひ衣料』



紳士既製服といっても千差万別、生地の問題からデザイン、縫製技術など、細かくいえば註文服よりウルサクなる。第一着る人の体に合わせて作るのではないのに、着る人はピタリと合うことを要求するのだから大変だ。

こんなウルサイ業界で、誰にも着心地よい仕立、流行を加味した落つきのあるデザイン、一針一針にも良心が縫い込められているような縫製で好評を博しているのが、『あさひ衣料工業KK』(文京区駒込千駄木町二ノ九四)である。社長は宮田作市氏、鹿児島生れで真面目一本槍の人である。二十二才のとき上京して日夜を分たず洋服についての修業を続けたから、たちまち信用を得、とんとん拍子で出世した。

現在も十四軒の下請工場を駆使して紳士服の製作に余念がない。

うまいかりん糖の新生産　"光印"で名を売る　大花堂



かりん糖といえば家庭でも簡単に出来る菓子だが、味がよくて食べ易いものはなかなかむずかしい。薬品の配合が難中の難なのだ。うまいかりん糖で有名な『大花堂』は社長多田光範氏を陣頭にいつも研究をつづけているから、味についても日進月歩"光"印を眼当てに買いさえすれば、決して路胆するようなことはない。生産部面の合理化によるコストの引下げにも成功したから安いことでも業界を圧倒しつくした。最近その設備を公開して識者をアッといわせた。

営業人に珍しい芸術家感覚　銀嶺写真館

カメラの流行でアマチュア写真家にすぐれた芸術家が多く輩出、営業写真家の中にあって営業マンは相当に痛手を受けているが、この中にあって異彩といわれるのは銀座東六ノ六の『銀嶺写真館』である。

館主星名美松氏は四十五才。十八才で写真を志し、山岳写真で有名な岡田紅陽門下に入って精進。開店して今日まで写真芸術にひたすら道を拓いて来たという、この道の先人だ。

営業人としても誠実で絶対、店を開けることはなく、どんな小さな写真でも自からシャッターを切るという。

"写真が芸術である為には先ずシャッター以前の人間についての探究が必要だ"と、営業人にはとてもいえない至言を吐くのもみごとだ。



紙器工業界の雄　ミヤコ紙器KK



"良いものを安く"をモットーに、鉄道弘済会、日通など大どころに納品して紙器工業界に君臨する『ミヤコ紙工株式会社』は中央区月島東仲通り一〇ノ七にある。

常務の佐藤直明氏は、多忙で留守勝ちな社長を補佐して、鋭い商才をみせている。福島県の産で、昭和八年日大を卒え、軍隊生活を経て二十二年『ミヤコ紙器』に入った。主なる製品は封筒、荷札などである。

従業員十六名一体となって働いているのは、みるからに温厚な常務さんの人柄の魅力のせいだろう。

"箱屋"を近代企業にした『桜紙器』



昔の『箱屋』という観念を打破して、紙器工業を近代企業としたのは足立区千住緑町の『桜紙器工業KK』だ。

社長は鈴木文郎氏。二十才のとき個人営業で始めた仕事だが、一貫作業を目論んで機械化したのが図に当った。需要者の側に立っていつも製品の研究に余念がないという。五十才、東京生れである。

アメリカでも好評嘖々　"ノリタケチャイナー"日本陶器



日本の陶器といえば、今日ノリタケチャイナーとして世界にその名を馳せているが、中でもその色彩の華麗さ、質のよさに、デザイン、と三拍子揃って世界市場に引く手あまたのメーカーは日本陶器と東洋陶器である。

かつては陶器の本場といわれた中国に於いてさえ、旅行者が手に取ってみれば名器といわれる程のものは全てメイド・イン・ジャパン。わざわざ東南アジヤや中国に行って日本陶器の製品を買って来たなどという笑えぬナンセンスもある。

この日本陶器の販売を担当して、国内は関東一帯から東北、北海道に覇を唱えるのが、芝琴平町の陶器デパート、『有限会社日本陶器商会』である。社長は藤原佐之一氏。国内のみか遠くアメリカ迄輸出して好評を博している。

その道をきく

どんな商売でも権威、成功者と呼ばれる名には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗りこえたか? "その道をきく"のは以って他山の石としたい念願にほかならない。

―88―



札ビラを切る満作大尽

上野、浅草に拾った農村景気

首手拭でコーヒーセット
テレビ 30万円軽く予約
見せつけられる東京ッ子

農村は豊作で近年にない好景気をえがいている。例えば流行のテレビ、電気洗濯機、ミキサーは勿論、中には一流デパート考案の近代的台所設備まで整えるという豊作ブーム、ここ東京北の玄関上野の盛り場も日本の穀倉を背負っている関東、東北、北陸から流れこむ農村景気でにぎわい、ドッシリと札タバをふところにしたお上りさんが無造作に札ビラを切って上野界隈の商人を喜ばせている。以下は上野、浅草の盛り場で拾った農村景気の一コマである。

○…十一月に入って上野、浅草の駅にはお上りさんの姿がグンと増えてきた。仕事も一段落つき懐ろ具合も好調なお百姓さんが東京見物かたがた掘り出し物でもないかと札束をたんまりかかえての姿なのである。買い方も上手になりもっぱらデパートや一流商店は敬遠し、露店商やたたき売りなどの店からゴッソリ買うといった方法のお上りさんが多くなった。

○…浅草観音様ふきんの洋服露店商でズーズー弁のオッサンが店主と二言、三言、三つ揃いの洋服を箇にいい合っていたが、そのうち『面倒だ、これくらいでいいだろう』とポケットの革財布から手の切れるような千円札を六枚だしたすっかり気を良くした店主は『気に入った、そうこなくちゃいけねえ、気に入りついでにこれもまけちめえ』とそばにあったボストンバッグをサービスにつけた。このオッサンも大喜びで帰っていったが売ったほうでも十分採算がとれればこそ付録もつけたもので、このオッサンなど案外高く買って喜んだ客の一人であろう。

○…広小路の叩き売り屋で『このラクダのダブルの毛布はそこのデパートで一万二千円で売ってるが、ここではその半値もいらない』てな口上で安く売るかわり、五枚まとめて買ってくれ(一万五千円)と条件をつけて並み入る客を見渡した。その中に欲しそうな顔でながめている二十四、五才の若い女性二人がいる。はじめはサクラ(客をよそおう同業者でお上りさんみたいな格好をしている)かと思っていたが、そのうち本物のサクラが『五枚全部は買えないが、[illegible]

[illegible]首に手ぬぐいをまいた小柄なオッサンが、所もあろうにコーヒーセット売場をあちこち物色、やがて覚悟をきめたらしく四千円位のセットを一揃い買っていった。『そうですね、たしかに農村ブームの影響はあります。三十万円もするテレビを軽く予約していったり、豪華な応接用のセットを注文するお百姓さんもいますよ。またこの時とばかり母娘連れできたタンスや衣類などの嫁入道具一式を買っていくのもあります』とは同店員たちの話で、このところ上野、浅草付近では東京人も豊作ブームに圧倒された格好である。


買物に余念のない農村主婦(御徒町にて)

ご機嫌の留任大臣

看板塗り替え のんびり組閣

雨にぬれた二十一日朝の首相官邸は総辞職の閣議といっても至極ノンビリしたもの。第三次鳩山内閣に看板替えするだけの話だから官邸の廊下も玄関前の報道陣のテント村にも緊迫感はさらさらない。午前十時の閣議を前に根本官房長官、続いて十分前には鳩山さんが一番乗り。ビュイック五三年型から降りたち、カメラマンに例の愛想笑い。一万田蔵相をはじめ重光、河野、石橋、高碕、大麻の六大臣は留任と内定しているから機嫌がよいのは当り前だが、椅子を降りる三木運輸相をはじめ松田、大久保、川島さんらの表情も淡々としたもの。二十五分後、遅刻した花村法相が『もうおしまいだと思うと気がゆるんでね』と冗談をとばす。

自せん他せんの閣僚候補たちの動きも全くみられず、閣議後の記者会見で根本官房長官は『何もかも問題ありませんや』と笑っていた。


首相官邸に入る鳩山首相

日赤 政府の意向打診

五名の身柄証で準備を説得

あすになるか 興安丸の出港

[illegible]

あす基地反対 全国代表会議

全国軍事基地反対連絡会議の第三回全国代表者会議は二十三日総評会館で開かれるがこれを機会に新潟基地からの大挙陳情をはじめ砂川、富士吉田、小牧などから地元民代表者が二十一日朝、両国国際スタジアムに集合、基地拡張反対を叫んだ。

ダイナマイト爆発

トンネル工事で四名死亡

【金沢発】二十日午後十一時すぎ石川県石川郡白峰村風嵐地内北陸電力白峰発電所建設工事場第十号トンネル掘さく中ダイナマイトが爆発、作業中の熊谷組竹谷班土工富沢礼次さん(三)=岩手県花巻市太田=同畠山善一さん(三)=同=同堀昭七さん(三)=新潟県岩船郡関川村片見=の三人は即死、同湯沢一郎さん(三)=群馬県利根郡板西田坂倉=は頭部に重傷を負い、[illegible]

下敷きで二名即死

【平発】二十日午後八時十五分ごろ[illegible]県常磐市湯本字笠井、金成[illegible]土工大森信雄さん(二〇)、間[illegible]さん(三)の二人が仲間十一名[illegible]に常磐炭鉱西坑口付近で[illegible]、コンクリート製用水槽(約五トン)が突然崩壊、下敷きとなって即死した。この水槽は坑内飲料用タンクで一年来使われなかったもの。

冬は急ピッチ

各地とも冷えこむ

きょう二十一日は朝から冷雨、気温もグッと下り、東京地方は午前十一時現在九・五度で平年より四・五度も低かったほか、各地とも冷えこんだ。今夜低気圧が伊豆諸島北部を通過するので東京は午後から風雨が強くなろう—とお天気相談所ではいっている。冬はいよいよ急速調—

旭川は零下九・二度

【旭川発】二十日夜から道北地方は気温が下り、旭川では二十一日朝最低気温零下九・二度で昨年より四・二度、平年より四・九度といずれも低く、今冬の最低気温。また旭鉄当局への報告によると石北線の上川郡では零下十八度であった。



『仰月口』開運の相

えてに帆をあげてノシあがる

あと四十日足らずで1955ネン今年の終りを告げるゴングが鳴る。光陰矢の如しウッカリしちゃあおられん。それにつけても浮き沈みの人生とはよくいったもの。馬鹿に運が開けたかと思うと逆に王女の恋人のように失恋のドン底に突き落される者もある。そこで一応話題に上った人々を俎上に『魅力はこれだ!』を題しズバリ、ピタリの高島象山先生にいろいろきいてみた。

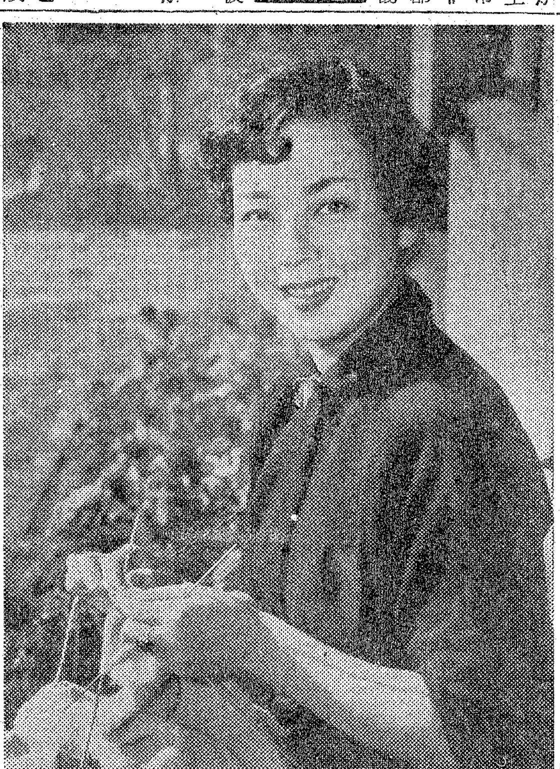
象山先生はじーっと彼女の写真を睨んでいたが……しばらくして爆竹をパチパチと手ぎわよくハジき。『口だ』やっぱりこの彼女の魅力はおちょこ口だと喝破した。この口は易でいう仰月口だそうで、覆舟口とは反対、グラン・プリ女優になったのもこの口の魅力がものをいった…と先生は仰有る。

『こんどマーロン・ブランドと国際映画に共演することになったのですが…』

『安心しなさい、この口と顔全体の調和よりも更に高い鼻、それにうるんだヒトミは国際映画にも絶対成功請合いじゃ…ワッハッハー』

紋付羽織の先生は巨体をゆすぶって笑う。(女優の易占は楽しいらしい)

『こうした口は喜悦型と称して夫婦円満でもあるのじゃ、ご存知か、むかし越境し、今はソ連に余生を送っているとかいう岡田嘉子、あの女の口は大仰月口といってこの彼女にプラス"大"の字がつく、そういった型の女性は歓喜天を衝く喜悦ぶりだが惜しむらくは男性から男性へ転転とし、末路はわびしい相なのじゃ。そこへゆくとこの女性はプラス大がないから違う。苦労が起ると喜んでやりとおす。そしてやりかけたら止めないたちじゃ、働き性があるとでも申そうか……潮に乗ったらえてに帆をあげてグングンのしてゆく……過去二十三才から二十六才までが一番華やかな売り出し時、それからは横バイだったが、この春からグッと運が開けてきている。(先生は彼女が洋行してお父さんに会ったことなど知っているらしい)なに結婚かね……当分はしないだろう。だがこうした女性はうっかりすると初婚に失敗するおそれあり、相性の男を選ぶことがもっとも大切じゃよ。なるべく社交性に富んだ明るい男がいいなあ……グラン・プリ女優はこの辺で勘弁して貰おう……』そういって先生はニコニコ? しながらうれしそうに眼を細めた。



魅力はこれだ! 高島象山師にきく

① 京マチ子さん

小店員からまき上ぐ

手配の常習ニセ刑事挙る


銚沼清

早稲田署ではかねて都内山の手一帯でニセ刑事になりすまし小店員ばかりを狙い現金や貴重品などをだましとっていた新宿区戸塚一の六〇〇元印刷工前科三犯銚沼清(三〇)を詐欺容疑で指名手配していたが、二十日午後七時ごろ銚沼が自宅付近に立回ったところを戸塚署員が逮捕、早稲田署に身柄を移した。調べによると銚沼はさる十月二十日新宿区高田町一先穴八幡神社境内で同区喜久井町四八酒屋店員浪崎泰和君(一八)に『俺は刑事だ。身体検査をする』とだまし現金四千円在中の鞄をだまし取ったほか自供しただけでも本年五月ごろから都内山の手一帯で小店員ばかりをだまし、三十八件約二十万円をかせいでいた疑い。同署で警視庁捜査三課に連絡、余罪を調べているが、銚沼は黒表紙の手帳に『警視庁』の三字を活字で押してへこませ、上に金粉をかけたニセ警察手帳も持っていた。

銚沼はさる十六年、十六才のおり少年警察官になりすまして捕り、深川の少年保護司に預けられたが、十八年に再びニセ警察官で当時の西神田署に逮捕され一年半服役、出所後二十六年にまたニセ刑事で神田署に逮捕されている"ニセ刑事常習犯"だった。

時ならぬ浸水騒ぎ

鶴見 水道の大鉄管が破裂

【横浜発】二十一日午前四時五十分ごろ横浜市鶴見区生麦町一二六〇先横浜市水道局内鶴見幹線(水道鉄管直径九〇〇ミリ)が突然破裂付近の住家床上浸水五戸、床下浸水一三二戸を出したのをはじめ、鶴見川以東川崎よりの末広町、寛政町、汐田一帯が断水。水道局で応急工事をしているが復旧は夕刻になる。原因は古パイプのため水圧に堪えかねて破裂したものらしい。

行楽列車転覆 80名死傷 英国

【ティドコット(英バークシャー州)二十日発ロイター=共同】ロンドン西方のバークシャー州ディドコット付近で二十日、ヘリーフォードからロンドンに向う二百九十名の旅客を乗せた行楽列車が脱線、転覆した。現地からの報告によれば、この事故で乗客約十名が死亡、約六十九名が負傷したという。

娘さん二階から転落

二十一日午前四時半ごろ北区赤羽町一の七六五会社員石井照子さん(三四)はお酉さまの帰りに酒に酔ったので男友達と新宿区西大久保一の四四五、一乃荘旅館=経営者森本陽子さん(四五)=二階で休んだが誤って高さ約五メートルの窓から転落、頭を強打してひん死の重傷。

林頂立氏来日

三蔵法師の分骨奉持団を迎えに

玄奘三蔵法師の分骨を台湾に送る日本側の奉持団を迎えるため台湾省議会副議長林頂立氏は二十一日午前二時、羽田着のCAT機で来日した。この分骨を台湾に送ることについては北京の中共仏教会から横やりがで、日本仏教会内部にも『話合いがつくまで待っては』との反対論が出て成行が注目されていたが、結局さる八日開かれた全日本仏教会幹部会で既定方針どおり台湾に送ることになったもの日本側奉持仏教会理事ら奉持団は二十五日、分骨をもって出発する予定。


羽田に着いた林頂立台湾省議会副議長

売春宿二軒ヤリ玉

警視庁保安課衛生係では、二十一日午前三時文京区本郷三の四一マリー・ホテル=経営者田野辺和子(三八)=渋谷区代々木山谷一一二〇田野辺旅館=経営者前沢重信(三四)=方を売春取締法違反容疑で家宅捜索、日本人相手に売春していた葛飾区堀切八八二無職小笠原とし子(三三)ら売春婦五名を売春現行犯で、田辺と前沢を場所提供でそれぞれ検挙した。

巡査はねられて負傷

二十一日午前零時二十分ごろ墨田区隅田町四の二五先路上で向島署外勤北沢宣幸巡査(三三)は自動車検問中、後からきた足立区千住宮元町六正和自動車会社営業課長国分徳夫(四三)の運転する自家用車にはねられ、近くの白鬚病院に収容されたが、後頭部裂傷で全治三週間の傷、原因は国分の前方不注意。

大塚三業の『里美会』大塚三業では二十一日午前十一時半から大塚会館で第一回『里美会』を開いた。あすも同様午後五時まで行う。

あすのスポーツ ▽野球 産業別大会=愛知産業対立川ALO、川崎重工対熊谷組、辻和商店対日鉱日立(九時、後楽園)▽卓球 東日本学生選手権(九時、王子製紙)▽レスリング 日本対トルコ(神戸)▽ローラースケート 全日本選手権(四時、後楽園)▽プロ・レス最終日(六時、蔵前)▽競馬 川崎

増上寺でボヤ

二天門危いところ

二十一日朝八時二十分ごろ港区芝公園三号地内にある増上寺二天門(重要文化財)の一部から出火、同門の板塀、柱など三尺四方を焼き大事に至らず消しとめた。愛宕署の調べでは同門は現在西武鉄道会社が徳川家から買いとり整理作業を行っているが、管理責任者の木村建設会社社員大園太島氏(五三)が前夜焚火の残り灰を肥料にするつもりでセメント袋に入れて同門の脇においたところ二十一日朝になって自然発火したものらしい。

独眼灯

○…このほどニューヨークのファッション・ショウに驚くべきゼイタクな婦人用メガネがお目見えして、さすがに金には糸目をつけぬヤンキー・ガールたちを『ダー』といわせた。デザイナーはパリの有名なエルザ・スキアパレリでニューヨーク市の某メガネ屋さんがさいきん輸入したもの。

○…正札は掛値なしの一万ドル(三百六十万円)で、フチのプラチナにあしらったダイヤが値うちだという。もっとも白金にオーストリア産水晶でもあしらえばただの四百ドル(十四万四千円)でもでき

子供番組に自主性を

私も一言

みなさんからの喜び、苦情、なんでも扱いたいと思います。投稿の際は『私も一言』係りへ。

[illegible]かごろラジオなどの子供演芸が本来の姿を逸脱しているのでにがにがしく感じていたところ先週ニッポン放送の素人演芸子供大会なるものを聞いてホトホトあきれてしまった。例をいえば、口うつしで教えられた幼児の小唄や、どこでどう覚えたのか小学生の落語『酒ぐせ』等々、最後に六才の女の子が浪花節で"天保水滸伝・笹川の花会"ときたのにはあきれるのを通り越して滑稽にさえなり、回らぬ舌で『義理と人情は涙が先よ』に至っては腹が立ってきた。

子供達はただ教えられた通り夢中でやっているのだが、これまでになるためにどれだけバカな親達から叱られたり、すかされたことだろう。そのうえ大人達のなぐさみものにされてはたまったものではない。しかし、いくら親を責めてみたところで、こんなバカげた催しがなくなるわけでもないので放送局に一言申したい。

いくらスポンサーの要望だといっても、子供をゆがめてまで儲けなくてもよいではないか。もしどうしても子供が使いたいならば、良い結果をあたえるものにしてはどうか。末恐ろしい子供をつくるのが放送事業か。商売のためには手段を選ばない商人にひき回されてばかりいないで、もっと自主性をもってほしい。

民間放送ができたときにわれわれがおくった喝采は、自由で明るい娯楽を望んだためであった。以上のことをよく心してこれからの番組を編成してもらいたい。子供を持つ親の一人としてお願いする。

(豊島区池袋・商人遠藤正彦)



続 情炎の千代田城 (306)

岩崎　栄
寺本忠雄 画

「さて親方さん！まこと、何ともお詫びの致しようもございませんが、もともと、あ衛と申すやつ、根がばかなときどき気狂いになって暴れるという、やっかいな持病がしてね。それがまた、酒がと、よけいに始末が悪るいざんして、今夜もいささか過ぎましたのがいけなかったで、へい。申しわけもござい…しゃるだあ夢にも存じませんが、まさか親分衆がここに…んだどうもご無礼千万なことし上げちゃったって只わけん…



ニューフェイス 浮きしずみ

さき頃NHKが売春問題で引合いに出し、続いてこれを裏付けするように日活演技課長と芳川千鶴の心中未遂事件などがあって、ガックリ点数の落ちた感のニューフェイスは、相変らず募集があれば五千人、六…の何パーセントにすぎない。こうし…フェイスの世界の中から二、三の話題を拾ってみる。

自らあきらめた 井上節子
里見有理 折角のチャンスも恋愛で棒に？

各社が毎年採用するニューフェイスはだいたい二十名前後だが、そのなかで役がつき人に知られるほどの女優になれるのは平均して一人か二人といわれている。大映のニューフェイス井上節子はそのなかではごく筋のよい一人だといわれていた。というのが彼女の場合は合格するまでは大映本社のエレベーターガールを勤め、ここに出入りする映画界の人々からミス大映というニックネームまでつけられ愛されていたし、父親は元松竹で谷麗光という二枚目半の俳優だった。このことは彼女が女優になるについての大きな誘いとなり、二十八年度本社重役からの推薦でニューフェイスに採用された。研究生時代はともかく、演技課員となってからはその人当りのよさと愛嬌で同期生仲間では頭角を現す存在となった。従って役のつき方も早く『馬賊芸者』『春の合唱』などで京マチ子の妹芸者や香川京子の友人になったりして大いに有望視されていた。ところがただ可愛いらしいだけでは魅力はするものでは…ないと知って、目下彼女は古巣大映本社の文書課にもどり、ニューフェイスの夢はサッパリとあきらめた模様である。これは賢明な例に挙げられるが、その反対の者も少くない。せっかくチャンスをつかみかけたものの恋愛に熱をあげて仕事に対する情熱を失い、周囲から見放され、やがては消える運命を自らたどるニューフェイスもいる。にんじんくらぶの自主映画『胸より胸に』で…

ストリッパーの役に抜てきされた東映の里見有理もその一人だ。これは『明日の撮影開始前、家城巳代治監督の希望でこの役の新人を探したところ、久我美子がかつて東映で『恋の子の縁談』を撮った時、里見がチョイ役で出ていたのを思い出して推薦決定、その幸運を祝されていたもの。ところがちょうど彼女は折も折東京貿易会社の御曹司と目下恋愛中とあって、撮影所にも彼氏の自家用車で乗りつけ、その上時間は遅れる、セット待ちの間にサッと自動車で消えるという具合で、これには監督以下スタッフも怒る言葉も忘れるという有様。共演の某スターも『たぶんあの人はもう映画をやめるつもりであるということをしてるんでしょうよ』と嘆じている。

東宝の豊島美智子の場合は病気が彼女のスターになるチャンスを失わせてしまった。東宝ニューフェイス四期生だから田代百合子、遠山幸子、八木沢敏などと同期で、マキノ雅弘監督に認められ『次郎長売り出す』で"鈴やのおせん"という大役で出発した。田崎潤、…てしまった。売り出し中、しかもまだニューフェイスとして一年になるかならずの中に病気というのは大きい。いつしか彼女の存在は忘れ去られてしまったが、目下彼女は病気も全快し再起しようとまた撮影所にかよい出している。『アタシはもう一度初めからやるつもりでいます。後から出た人に若くて元気な人も沢山いますが…ともかく病気は本当にこわいです』と淋しそうだ。

こうしてさまざまなタイプのニューフェイスが、それぞれ銀幕のかげで知られざる苦悩の途を歩んでいるわけだが、華やかな世界だけに一段とまた彼女らの毎日はけわしいというものなのであろう。


上から井上節子、里見有理、豊島美智子

泉和助、突然姿をかくす
日劇ミュージックホール出演中に

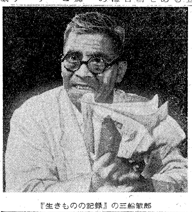


日劇ミュージックホール十一月公演『桃色の手袋』は久しぶりに大好評だが、主要登場人物の一人コメディアン泉和助が十五日から突然舞台を下りて姿をくらまし劇場側をあわてさせている。問題は彼が、ここにかけ持ち出演をしていた東宝演芸場『東宝ごらく版』の出演料にからむものとみられているが、劇場側は日劇『秋のおどり』出演の終ったコメディアン南道郎を急拠代役に起用、その穴を埋めているものの『桃色の手袋』の泉の役が元来彼の特技である踊り（特にタップなど）を活用するようにできているため、南ではそれを活かし切れぬ憾みがあると悩んでいる。ミュージックホール運営委員会では『また彼の持病が出たものと思う。そのうちに出てくるだろう』と簡単に見ているが、その裏にはミュージックホールの舞台でなければ彼を活用できないという自信も秘めている…台に出ていた村田正雄…エリックなどは『和助の…わかるが、そうかといって…ま放っておいては彼の…結果を生むとは思えない…しているぐらいで、大…クにしている劇場に対…ディアンのささやかな…には『こんなことして…スと取れないこともない…は東宝の舞台から閉め出…ないか』と真剣に案じている向きもある。【写真は泉和助】

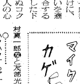
映画 やぶにらみ
つきつめた現代人を描く 意欲的な異色作
生きものの記録＝（東宝）

（三船敏郎）は考える。彼はもう六十才だが腕一本で築きあげた立派な鉄工所を経営し、数人の妾も抱えているという実に生活力にあふれた男だ。いわゆるノイローゼ的な青白い男でなく、こういう精力的な人間を主人公にすえた取合せは破天荒で実に興味深い。彼は水爆を避けるため家族をあげてのブラジル移住を計画するのだが、息子達（千秋実、千石規子、東郷晴子など）は常規を逸していると して彼を準禁治産者に申請する。その裁判所の風景から話は展開する。

▽…最初から実に荒々しいタッチでスクリーン一杯に原水爆の脅威に追いつめられた人間の姿を無理面から叩きつけている。その激しさにいささか途惑うほどだが、いつしかこの奇矯な老人の行動が決して馬鹿や気狂いの沙汰ではないと思えて来る。ボサーッと暮していない以上、現代はこういう恐ろしい断崖のふちに危うく立っているのだという強引な説得力に溢れている。映画の娯楽的な要素という面から考えると確かにこの作品は年一本過ぎ、わざわざハミ出るような撮り方をしている画面も決して美しくはない。しかしこういった表現方法しかなかったんだという気持は、それだけにかえって十分汲みとれる気がする。三船の老人も熱っぽく、意欲作、力作の名にふさわしい作品である。（静）


『生きものの記録』の三船敏郎

マイクのカゲ



○…ドラマと音楽の使い方…○

▽…十七日夜九時、NHK第二のドラマ『霧』は若い女性をめぐって愛情とエゴイズム、運命と情熱を追及した心理的なものだったが、作者が中村真一郎だけに、涙と笑いを適当に配合する職人化したドラマ作家のものにはみられぬコクのあるものだった。ことに人の心を見通す幽霊が出て喋る非現実的なセリフのやりとりも、セリフに密着させた音楽（別宮貞雄）の使い方で雰囲気を盛り上げていたが、これは音楽を単に効果として使う観念的なやり方に新しい面を築いたものといえよう。演出は立体放送音楽で腕利きの山口淳（AK演劇課員）配役の中では主役の女性をやった放送劇団五期生の友部光子が光った。とにかくドラマといえばメロ調の連続ものが多いなかで、作家の異色作が放送されるのは楽しみである。【写真は中村真一郎㊧と友部光子】

○…ハラハラするアナの司会…○

▽…LFが木曜を除いて毎晩七時二十分から十分間、歌謡曲、ジャズの歌手を目指す無名の新人をデビューさせている『花のステージ』で、紹介を担当する鳴海アナのインタビューはギコチない。同じ意味のことを二度尋ねたり、しょっ鼻から耳を聞いて娘さんをドギマギさせたりしているのは聞いている方がハラハラして務つけない。相手が商売人ではないのだから、もっと楽しく歌わせてやるように気を配ることが大切ではないだろうか。

○…夜の放送で『今日は』…○

▽…この頃夜の公開番組で『今日は』というあいさつが時たま飛出す。これは昼間録音をとるために不用意にもらすものだが、これを司会者やゲストが使ってしまってはご愛敬どころかブチこわしである。こんな時プロデューサーはもう一度やり直させるだけの度胸と権威をもたねば、いつまでたっても番組の進歩はあるまい。（廻）

新劇ドサ回り ⑤
文学座の巻 その一
"舞台"忘れて楽屋風呂
頭を丸めてあやまった三津田健

（民）　芸のところで、京都の定宿が『喜多藤』だと書いたが、ここには文学座もしばしば泊る。たびたび便所の話で恐縮だが、古い家なので、トイレは水洗でない。この夏三島由紀夫の『葵の上』『只ほど高いものはない』二本で関西公演をやったとき道明福子もこの宿だった。ところで彼女は東京の下町上野池ノ端育ちでずっと水洗便所に馴れている。初めての旅公演に『喜多藤』へ泊ったものの、暗い奈落がポッカリ無気味に開いている日本古来の『おトイレ』にはどうしても入る気がしないとあって、ご丁寧にも宿を出て一町ばかり先の交番横の公衆用をもっぱら利用した。それも昼間は平気だが、夜になると心細い。何しろ古い老舗のお嬢さんである。そこで同宿の山岡俊三がノコノコお供についで行く。これが後でみんなにわかって『わざわざ交番わきまで行くヤツも行くヤツだが、その間、外で一体どんな顔して張り番をしてたんだ』と大笑いになった。

（数）　年前の話だが、一行一回公演のあわただ…しい旅があった。終るとサッと支度をして次に出発の準備をせねばならない。そこで舞台はまだ続いていても、出場のなくなったものは、芝居には頓着なく楽屋で梱包をしたり身じまいをしたりするわけだ。関西のある小都市での公演の晩、出場が近くなったのに"お父ちゃん"三津田健が楽屋にも見当らない。さすがは"国士"故杉浦重剛の弟子だけあって翌日早速頭を丸めてあやまった。凡そちょうめんな彼にしては珍しいことなので驚いたみんながアチコチ探したら何と彼悠々と楽屋風呂に入っていい気分でいたのだ。出場は終ったと信じ込んでいたのである。さあ大変というのでタオルでいい加減にさっと拭いて衣裳をひっかけるとやれやれと松浦竹夫に近藤準の二人が近くのバーに入ったところ女給たちが松浦を見て『まあ、岡晴夫だナモ』と騒ぎ出した。違うといってもどうしても…

（シ）　ラノ・ド・ベルジュラック』は『女の一生』とともに文学座の当り芸で何度となく再演しているが、初演のときのこと、小屋は名古屋の御園座でそのラクの晩、パネ…ヨンを入れたりしながらマをつないでいたが、ソデから入って来た三津田の頭を見て、みんな危く吹き出すところだった。カツラをつけ忘れたので、"お父ちゃん"の頭のテッペンからはボッポと湯気が立昇っていたのである。もっとも古い幹部なが…



新宿キャバレー さくらめんと

岡本文弥独演会　二十一日夜六時本牧亭。『十三夜』『おその』二題上・伊太八

名題 都々逸
石井きんざ選

目ばかりで逢う日がなくてきょうも冷たい秋の雨　浅草・岩崎節子
意地と依怙地のこんくらべ暮方に帰せぬ今夜　文京・木村いつ秋
聞い願いの縁談叶うも良い…すぐめの街みくじ　上野・千両
女の燃えてる身体触れりゃ火を吹く熱い息…

ラジオ・プログラム 22日（火）

★NHK第1★ 590KC
- 7・45 朝の訪問 イタリア駐在大使 原田健
- 8・05 名曲をたずねて
- 8・30 古代文化の夢のあと メソポタミヤ 江上波夫
- 0・30 夢のまた夢 草笛光子
- 1・05 鈴木茂三郎夫妻を訪ねて 藤倉修一
- 2・05 落語二題❶牛ほめ 歌橘❷大晦日 伸治
- 3・15 花の素顔 AK劇団
- 4・30 年末の財布
- 6・25 オテナの塔
- 7・30 話の泉 ゲスト 福島慶子
- 8・00 青空の仲間 哀れ秋風の巻 エノケン
- 8・30 民謡 二三吉 市丸 〆香 中山嘉子 赤坂小梅
- 9・15 若い季節 中井啓輔 御橋公 日高ゆりえ
- 10・15 NHKシンホニタンゴ

★NHK第2★ 690KC
- 7・30 アメリカ文学入門 西川正身
- 8・30 ヴイツトリオ・グイ指揮 モーツアルト曲
- 10・00 あべこべ物語
- 0・30 ニユースワン・オーケストラ・唄 菊地民子ほか
- 1・15 交響曲の時間
- 2・30 暖く暮すには
- 4・00 座談会 調教師 藤本冨良 騎士 二本柳俊夫
- 5・00 清元と俗曲
- 6・40 科学家庭座談会 佐山さん一家
- 7・00 名曲鑑賞
- 7・30 豊作に想う
- 8・05 座談会 労働スポーツそして休息 暉峻義等ほか
- 9・00 歌劇 スペインの時 ラヴエル作曲 宮本正ほか 宮本良平 福沢アクリヴイ
- 11・05 新商店読本

★ラジオ東京★ 950KC
- 8・35 花ふたたび
- 9・05 ウツカリ夫人 同姓同名の巻
- 10・10 名作アルバム千回記念 懸賞作文朗読 宇野重吉
- 0・15 リズムのつどい 柳沢真一ほか
- 0・30 白菊金五郎 神田伯治
- 1・20 母の自画像 細川ちか子 高橋和枝
- 2・05 ユーモアコンテスト・日本晴れ 加藤治子ほか
- 6・25 クイズ・パトロール 富永美沙子ほか
- 7・30 高砂や 柳家小さん
- 8・00 剣に生きる人々 五郎正宗 東野英治郎
- 8・30 歌の風車 暁テル子 音羽美子 三橋美智也
- 9・10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎
- 10・15 人情馬鹿物語

★日本文化★ 1130KC
- 7・35 三枝登とその楽団
- 8・10 おしやべり 楠トシエ
- 9・30 青春のあるところ
- 10・40 君ひとすじに
- 11・35 劇 夢みる沼
- 0・15 活動から映画へ
- 1・15 昔の言葉 金馬
- 2・00 現代劇場人魚の海
- 4・00 コンサートホール
- 5・30 空の向うに何がある
- 5・40 宇宙戦争 こけし座
- 6・00 少年宮本武蔵
- 6・10 劇 平将門
- 7・30 漫才クイズ 弥次喜多道中記 いとし こいし
- 8・30 徳川家康 宝井馬琴
- 9・00 歌うバースデイ・プレゼント 芦野宏
- 9・30 ❶今日この頃 ひろし❷投書箱 米丸
- 10・00 大学受験秋期講座
- 11・00 秋の夜話 犬さまざま

★ニツポン★ 1310KC
- 7・35 時の話題 野村秀雄
- 8・00 サザエさん
- 9・45 劇 花はもえている 高千穂ひづる
- 11・00 劇 おばあさん
- 0・00 ❶漫才 悲しき恋❷小咄と物真似 鈴々舎馬風
- 1・00 劇 秋晴れの家❷
- 1・35 やりくりチヨ子さん 左幸子
- 2・00 劇 君を愛す
- 3・00 お笑いバスケツト
- 6・00 ポツポちやん物語
- 7・30 ミラクル・メロデイ
- 8・00 今週の花嫁花婿 伊東絹子 河井坊茶
- 8・30 水戸黄門 突破ほか
- 9・00 歌のカクテル・パーテイ 柳沢真一 旭輝子
- 9・30 夜から夜まで❶
- 10・00 劇 南無三宝
- 11・15 三味線の手ほどき


【写真はメリー松原】

寄席下席

記録は…吉田君は…ったんだから…



今年の人気女性 指名投票用紙

投票者住所氏名　人気女性名

内外タイムス社